

2. 火山の概況 (平成 19 年 6 月 29 日 ～ 平成 19 年 7 月 5 日)

活動が活発もしくはやや活発な状況の火山

- 樽前山 [やや活発な状況] : A 火口では高温状態が続いている。
- 三宅島 [やや活発な状況] : 多量の火山ガスの放出が続いている。
- 硫黄島 [やや活発な状況] : 大きな隆起の地殻変動はやや鈍化しながら継続している。
- 桜島 [比較的静穏な噴火活動 (レベル 2)] : 今期間、噴火は観測されなかったが、長期にわたり噴火活動が継続している。
- 薩摩硫黄島 [やや活発な状況 (レベル 2)] : 火山性地震はやや多い状態が続いている。
- 口永良部島 [やや活発な状況 (レベル 2)] : 火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている。
- 諏訪之瀬島 [活発な状況 (レベル 3)] : 今期間、噴火は観測されなかったが、長期にわたり噴火を繰り返すなど火山活動の活発な状態が続いている。



注1 本資料中で記したレベルとは、火山活動度レベルを導入した火山におけるレベルを言う。

注2 記号の意味

▲：噴火した火山

●：活動が活発もしくはやや活発な状況の火山

◇：静穏な状況であるが観測データ等に変化のあった火山、もしくはその他の記事を掲載した火山

①②等の丸付き数字：火山活動度レベル

図1 活動解説を掲載した各火山の今期間の活動状況

【各火山の活動解説】

各記号の意味は次のとおり。▲：噴火が観測された火山。●：活動が活発もしくはやや活発な状況である火山。◇：静穏な状態であるが観測データ等に変化があった火山、もしくはその他の記事を掲載した火山。

● 樽前山 たるまきさん 【やや活発な状況】

6月28日に北海道立地質研究所が実施した現地調査では、A火口の温度は約470℃¹⁾（前回5月29日約540℃¹⁾）と依然として高温状態が続いていた。また、B噴気孔群は依然として高温の状態が続いていると推定される。

樽前山の火山活動はやや活発な状況が続いており、火口周辺では注意が必要である。

なお、噴煙活動・地震活動は低調な状態が続いており、地殻変動に特段の変化はなかった。

- 1) 赤外放射温度計または赤外線熱映像装置による。これらの装置は物体が放射する赤外線を感じて温度分布を測定する測器であり、熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。

● 三宅島 みやけじま 【やや活発な状況】

7月5日に行った火山ガス観測では、二酸化硫黄の放出量は一日あたり1,200～2,000トン（前回6月19日、一日あたり2,800～4,700トン）と依然として多量の火山ガスの放出が続いている。

噴煙高度は火口縁上概ね100mで推移した。火山性地震はやや多い状態が続いている。

三宅島では多量の火山ガスの放出が続いており、特に風下にあたる地区では火山ガスに対する警戒が必要である。また、雨による泥流にも注意が必要である。

なお、火山性微動は観測されず、地殻変動に特段の変化はなかった。

● 硫黄島 いおうじま 【やや活発な状況】

国土地理院及び防災科学技術研究所の観測によると、2006年8月に始まった島北部を中心とした島全体の大きな隆起の地殻変動はやや鈍化しながらも継続しており、島内の地震活動は地震回数がやや多いものの落ち着いた状況で推移している。

硫黄島の火山活動はやや活発な状況が続いており、従来から小規模な水蒸気爆発が見られていた領域では、今後も注意が必要である。

● 桜島 さくらじま 【比較的静穏な噴火活動（レベル2）】

今期間、昭和火口及び南岳山頂火口からの噴火は観測されなかった。

火山性地震は少ない状態が続いている。火山性微動は観測されなかった。

7月5日に行った火山ガス観測では、二酸化硫黄の放出量は一日あたり400～800トンと前回5月23日（一日あたり1,000～2,000トン）と比べ減少していた。

国土地理院のGPS観測によると、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部へのマグマ注入による長期的な膨張傾向が続いている。

桜島では長期にわたり噴火活動が続いており、昭和火口及び南岳山頂火口から半径2km以内では注意が必要である。

● 薩摩硫黄島 さつまいおうじま 【やや活発な状況（レベル2）】

火山性地震はやや多い状態が続いている。今期間、天候不良のため硫黄岳山頂火口の噴煙の状況は確認できなかった。

薩摩硫黄島の火山活動はやや活発な状況が続いており、硫黄岳山頂火口周辺では注意が必要である。

● ^{くちのえらぶじま} 口永良部島 【やや活発な状況（レベル2）】

火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている。

口永良部島の火山活動はやや活発な状況が続いており、^{しんだけ}新岳火口周辺では注意が必要である。
なお、地殻変動に特段の変化はなかった。

● ^{すわのせじま} 諏訪之瀬島 【活発な状況（レベル3）】

今期間、噴火は観測されなかった。

30 日に火山性連続微動が発生した。火山性地震及び火山性微動は少ない状態で経過した。

諏訪之瀬島では、長期にわたり噴火を繰り返すなど火山活動は活発な状況が続いており、^{おたけ}御岳火口から半径 2 km 以内では注意が必要である。

表1 最近 1 か月に記事を掲載した火山及び各火山のレベル

概況番号	対象期間	北海道		東北	関東・中部				伊豆・小笠原諸島			九州・南西諸島											
		樽前山	倶多楽	吾妻山	草津白根山	浅間山	伊豆大島	三宅島	硫黄島	福徳岡ノ場	九重山	阿蘇山	雲仙岳	霧島山（新燃岳）	霧島山（御鉢）	桜島	薩摩硫黄島	口永良部島	諏訪之瀬島				
				記号																レベル	記号	レベル	記号
27	6/29-7/5	●		①	①	①	①	●	●		①	①	①	①	①	●	②	●	②	●	②	●	③
26	6/22-6/28	●		①	①	①	①	●	●	●	①	①	①	①	①	●	②	●	②	●	②	●	③
25	6/15-6/21	●		①	①	①	①	●	●		①	①	①	①	①	▲	②	●	②	●	②	●	③
24	6/8-6/14	●	◇	①	①	①	①	●	●		①	①	①	①	①	▲	②	●	②	●	②	▲	③
23	6/1-6/7	●		①	①	①	◇	①	●	●	①	①	①	①	①	▲	②	●	②	●	②	▲	③

※ 火山情報発表状況

今期間、火山情報の発表はありませんでした。